



銅メダルを手に皆さんに見せることができうれしいと話した鈴木選手(右)

ミラノ・コルティナ  
冬季パラリンピック

## みんなで取った銅メダル 鈴木選手、約束を果たす



メダル獲得が決まり、歓喜に沸く参加者たち

## Pick Up

今月の話題

鈴木猛史選手をみんなで応援  
銅メダルの瞬間を共有

ミラノ・コルティナ冬季パラリンピックのアルペンスキー男子座位に出場した鈴木猛史選手を応援するパブリックビューイングが、学びいなどで開催されました。パブリックビューイングは3月7日の滑降、9日のスーパー大回転、13日の大回転、15日の回転種目で実施され、各日も約50人が参加。会場には、鈴木選手の父・鈴木保さん、母・弘子さんをはじめ、多くの町民が集まりました。参加者は「必勝」と書かれたはちまきを巻き、バルーンをたたきながら、熱い声援を送りました。

最終日となった15日の回転種目のパブリックビューイングで二瓶盛一町長は、「町民の皆さんに応援に来ていただけて心強いです。声の限り声援を送りましょう」と呼びかけました。

この日は雪が降る厳しいコンディションでのレースとなりましたが、鈴木選手が見事銅メダルを獲得。レース直後、父の保さんは、「今日は雪が降る悪条件下でしたが、本人はこういうときの方がむしろ力を発揮できるタイプなので、結果を出してくれると信じていました。夢が叶い、とてもうれしいです。家族の支えがなければメダルは取れなかったと思います。本人は家族に報告できることが、何よりうれしいと思います」と喜びを語りました。

3月6日から15日まで開催されたミラノ・コルティナ冬季パラリンピックにおいて、本町出身の鈴木猛史選手がアルペンスキー男子座位の回転で銅メダルに輝きました。

鈴木選手は、高校生で初出場した2006年トリノ大会以来、6大会連続出場となりました。これまでに、2010年バンクーバー大会の大回転で銅メダル、2014年ソチ大会では回転で金メダル、滑降で銅メダルを獲得しています。今大会では5種目全てに出場し、滑降、スーパー大回転、複合、大回転で入賞すると、得意種目の回転では見事銅メダルを獲得。12年ぶり、通算4個目のメダル獲得となりました。

回転は2本の合計タイムで順位を競う種目です。鈴木選手は1本目を47秒65で滑り、全体3位につけると、2本目では全体1位となる43秒65を記録。合計1分31秒30のタイムで表彰台上がりました。

**大舞台での成果を報告**  
イタリアから帰国して初めて

### 回転で銅メダル 6大会連続出場で快挙

の帰郷となった3月30日、鈴木選手は大舞台での成果を報告するため町役場を訪問。庁舎入口では多くの職員らが拍手で出迎え、花束を贈りました。

二瓶盛一町長は、「町民が一体となって精いっぱい声援を送りました。メダル獲得に町が大いに盛り上がりました」と述べ、明るいニュースをもたらしたことに感謝しました。

鈴木選手は、「これまでで最も難しいコースでしたが、町民の皆さんの応援のおかげで、最後まで勇気を持って滑ることができました。皆さんと一緒に獲得した銅メダルです。感謝の気持ちでいっぱいです」と話しました。さらに、現役続行に意欲を示し、後進の育成にも力を尽くしながら、4年後に開催されるフランス大会でのメダル獲得を誓いました。



【撮影日】3月24日  
【撮影場所】亀ヶ城公園

### 今月の表紙

亀ヶ城公園の遊具が新しくなりました。幅広い年齢の子どもたちが利用できるよう配慮された造りになっています。風の強かったこの日、猪苗代小を卒業した小坂橋船斗さん、川上柊輔さん、古川瑞希さん、富田恵至さん、小野寺奏さん、古川琉詢さんの6人が元気に遊んでいました。中学生になったら、勉強に部活に頑張りますと話してくれました。



マチを好きになるアプリ



ios用 Android用



LINE やメールで町から情報を配信しています。ぜひ登録を！